



道の駅よこはまエリア地方創生拠点形成 H29年度 取組状況

資料 2



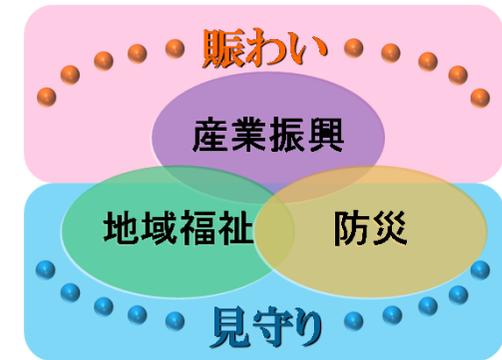
平成30年3月12日
横浜町・青森県

道の駅よこはまエリア
地方創生拠点完成イメージ

道の駅「よこはま」エリア地方創生基本計画の概要

- 道の駅「よこはま」を含む周辺エリアを地域資源として捉え、“**賑わい**”と“**見守り**”を基本コンセプトとする「**産業振興**」+「**地域福祉**」+「**防災**」の3機能を有する「**地方創生拠点の形成**」を目指す。
- 横浜ICと道の駅「よこはま」エリアとの連携**により、**下北半島縦貫道路の休憩・情報施設**としての活用を図る。

※道の駅「よこはま」エリア・・・小中学校やガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどの施設が集積する道の駅を含めたエリア。既存施設の有効活用が可能。



“賑わい”と“見守り”を基本コンセプトとして、3機能を有する「地方創生拠点」の形成

賑わい

産業振興「道の駅」 ⇒交流人口の拡大・地域経済の活性化

- ①地域間や産官学と連携した観光企画の強化
- ②買物や休憩、憩いで賑わう空間づくり
- ③地域の特産品によるオリジナル商品開発・ブランド化
- ④集荷サービス等による直売所の充実



地域福祉「道の駅」 ⇒安全・安心な住民サービスの提供

- ⑤高齢者など住民への宅配サービス
 - ⑥道の駅への送迎サービス
- 【集荷・宅配サービスと同時に見守り・声かけの効果も】



見守り

防災「道の駅」 ⇒地域防災力の強化（広域防災の後方支援）

- ⑦災害時の受け入れ体制づくり
- ⑧防災訓練やPR活動を通じた住民の防災意識の醸成



施策① 観光企画の強化

取組の方向性

駐車場の拡張により大型車両が立ち寄りやすくなる契機を活かし、観光客や来訪者を増やす企画提案や受け入れ体制づくりを行う。

計画の内容

- 観光ルート、観光企画の提案
- 産官学と連携した観光素材発掘（横浜町ファンづくり）
- 受け入れ体制の充実
- レストランの魅力アップのために加工グループとコラボ



○今年度の取り組み

○レストランの魅力アップ

- インターンシップの受け入れによるレストランの改善提案 [前回報告済]



▲あら伊達な道の駅

● レストラン視察

- あら伊達な道の駅（宮城県）
ビュッフェ方式。
野菜が中心で、5種類のカレーに、大手チョコレート店とのコラボメニューのデザートプレートあり。
- 上品の郷（宮城県）
食券販売の単品メニューとビュッフェ方式。
- あぐりの里（おいらせ町）
ビュッフェ方式。自社農園の素材を使用しコスト削減。

上品の郷▶



あぐりの里▶



▲▼菜の花キャラバン（函館市）



● 台湾での観光PRに参加（日本政府観光局主催のイベント）

下北6市町村が連携し、12月に台湾台北市で町のパンフレット配布、ゆるキャラでのPR活動等を行った



◀▲台湾での観光PR

○ 受け入れ体制の充実

● 電子看板整備

観光PRとして、町、特産品、産業、イベント等、常に情報発信できる。電子看板を道の駅に3台設置そのうち1台は、タッチパネル式のため、自由に選択して閲覧可能。うち2台は、画面3分割し情報提供可能。



● 多言語のレストランメニュー表作成

「英語」表記、「中国語」表記のレストランメニュー表をインターンの大学生が作成。インバウンド受け入れ体制の強化。

中国語表記のメニュー



課題である人手不足には、まず食券制度、完全セルフサービスが理想。地元農家の野菜を使用すると原価は下がるが、継続安定供給が難しい。

○観光ルート、観光企画の提案

● 函館アフターデスティネーションキャンペーン実施

- 道の駅での函館関連商品の販売。[前回報告済]
- 横浜町PR菜の花キャラバン実施（函館市金森倉庫：12月）

● 上十三・十和田湖広域定住自立圏

観光推進協議会

パンフレット作成配布

圏域内市町村イベントスタンプラリーの実施（横浜なまこフェア）



○今後の取り組み予定

- レストランの魅力アップのために加工グループとコラボ
- レストランの改善について引き続き検討
- 「下北TABIあしすと」の事業での観光企画
- 町制60周年記念菜の花大迷路制作



施策② 買物や休憩、憩いで賑わう空間づくり

取組の方向性

道の駅と三保野公園、交流館を活用し、ゆっくりと滞在できる環境を整備し、道路利用者や地域の方々に賑う空間を創出する。

計画の内容

- 三保野公園や交流館の利活用
- 高齢者はじめ来訪者が休憩できる空間づくり
- イベントや催事などの企画の充実
- レストランの魅力アップ【再掲】



○今年度の取り組み

○イベントや催事などの企画の充実

• 道の駅で、加工団体が毎月イベントを開催

歳時や農水産物の旬にちなんだイベントを開催し、特産品のPR、道の駅への誘客、ディスプレイでの空間づくり実施。

• イベント時の新商品開発販売

加工グループが、イベント毎に加工品を開発し、販売。



▲クリスマスのディスプレイされた売り場



▲ひなまつりフェアと雛飾りの展示

クリスマスフェア ▶
▼クリスマスシフォン



▲節分フェア (豆にちなんだ加工品)



▲長いもフェア (いも餅と長いもの唐揚げ)



○今後の取り組み予定

- 毎月イベントの継続開催 (レストランのフェア参画検討)
- 三保野公園、よこはま温泉案内看板設置により公園での休憩や温泉利用を来訪者へ促す。

2017・2018 道の駅よこはま イベント計画

実施月	開催(予定)日	イベント名	イベント概要	新商品	新商品以外の商品
1月	2017/1/14	新春子供もちつき踊り大会	もちつき踊り		豚汁
2月	2017/2/12 2017/2/13	バレンタイン 義理も告白もあなたの代わりに手作りチョコ	バレンタイン手作りチョコ菓子の販売	ハートのぺこもち「ほんの気餅」	
3月	2017/3/12	ホタテ稚貝フェア	稚貝の大袋販売	稚貝の味噌汁	
4月	2017/4/9	変わりだね 菜の花ドーナツ	菜の花ドーナツのアレンジ販売	ドーナツアイス	
5月	5月連休	菜の花フェア	菜の花プレゼント		
6月	2017/6/18	ホタテの日	ホタテ即売		ホタテ汁
7月	2017/7/22・23	「菜の花市」	野菜の直売	シッカシカカボン菓子(5種の味)	地元産旬の野菜等
	2017/7/23	新みつ 餃て生はちみつ試食即売フェア	はちみつ試食即売 はちみつが絞れるまでの話や写真で説明		
9月	2017/9/17	じゃがじゃがフェスティバル	じゃがいも詰め放題 毛まめ詰め放題 じゃがいも料理提供 チャレンジ販売体験	じゃがいものスープ いもち(チーズ入り) 煮ころがし すべて横浜町産のおやさいコロッケ ポテトチップス	地元産旬の野菜等
10月	2017/10/7・8	「菜の花市」	餅つき 野菜の直売 かぼちゃを使った加工品販売	かぼちゃのすいとん かぼちゃコロッケ かぼちゃグラタンパン かぼちゃドーナツ	地元産旬の野菜等
	2017/10/8	ハロウィンだよ! かぼちゃ祭り	大きなカボチャの重さ当て かぼちゃに顔を書いてみよう!	月見菜の花ドーナツ かぼちゃのスープ	
11月	2017/12/10	長いもフェア	長芋料理紹介・販売	長芋のいもち入りおしるこ・具だくさん味噌汁 長芋のから揚げ 長芋の漬物	掘りたて長芋
12月	2017/12/10~ 12/25	クリスマス	クリスマスツリーの展示 クリスマス期間限定商品の販売 食べるはちみつの試食	クリスマスシフォン クリスマスリース風チョコドーナツ	ツリーパン チョコがけ米粉かりんとう 食べるはちみつ ドライフルーツのはちみつ漬け
1月	2018/1/20~ 2/3	節分フェア "豆喰って鬼退治!"	豆を使った加工品販売 鬼の塗り絵展示(買い物券進呈)	毛まめもち 豆しとぎ(毛まめ・黒豆) 豆パン 豆大福	
2月	2018/1/31~ 2/14	バレンタイン♡フェア	バレンタイン手作りお菓子販売	はちみつ生キャラメル(グラノーラ入) ブラウニー チョコパー	チョコほん チョコがけ米粉かりんとう ハートのクッキー
2月	2018/2/21~ 3/3	ひなまつりフェア	ひなまつり雛壇展示 なっちゃんひな人形展示 甘酒ふるまい ちらし寿司・おしるこ販売 じゃがナゲット販売	さくら大福 おひなさまパンダぺこもち ちらし寿司 手作りひなかざり	
3月	2018/3/11	ホタテ稚貝フェア	稚貝の大袋販売		ホタテ炊き込みご飯

施策③ 特産品による商品開発・ブランド化

取組の方向性

・これまでの開発した商品のPR活用と、専門家や地域と連携した「地元の食材を活かした商品開発・ブランド化」を推進する。

計画の内容

- ・ 魅力ある商品開発（6次産業化の強化）
- ・ PRや売り場の工夫・改善



○今年度の取り組み

○魅力ある商品開発（6次産業化の強化）

- ・ 専門家の助言を受け魅力ある商品開発検討会及び勉強会開催
勉強会 第1回「商品開発について」道の駅つるた駅長 一戸氏
第2回「商品ラベル・パッケージについて」BREST西村氏
第3回「地元特産品や加工品をいかにPRし、販売するか」対馬氏
- ・ 加工品開発のためのアンケート調査（3回）実施
調査結果を商品開発検討協議会で報告し、情報共有し、今後の商品開発の参考に。
- ・ より良い加工品づくりのため大学生と担い手との意見交換
実際に加工品を試食し、意見交換したり、商品毎の評価及び感想をキックバック。
- ・ マーケティング調査のためのイベント出展
「町イチ！村イチ！2017」・「ニッポン物産展」（東京都）
「はこだてグルメサーカス」（北海道）
実演や、菜種油・はちみつなどは物産で販売しやすく売れる。菓子類は、競合も多く、売れにくい。販売テクニックが必要。
- ・ ミニイベント時で新たな商品開発をして販売
約20品が商品開発され、販売。
- ・ 地元小学生考案商品の商品化（平成30年3月に限定販売）



○PRや売り場の工夫・改善

- ・ POP講習会の開催
講習会の中で実際にPOPを作り、翌日から、売り場や掲示。
時期が閑散期であるため、大きな売り上げの変化はないが、昨年より多めに売れており、問い合わせもあるため、お客様の目に留まっていることは確実。
- ・ なたねの会のチラシやリーフレットを作成しイベント出店時配布。
横浜町の「食の魅力」を効果的に発信。



◀講習会で作成したポップを売り場に実際に表示



○今後の取り組み予定

- ・ 商品ラベルプリンター導入
- ・ 町加工品の統一シールによる差別化
- ・ 既存商品のブラッシュアップ
容量、ラベル、パッケージ等をより消費者が手に取りやすいものへ検討し変更)

施策④ 直売所の充実（地産地消）

取組の方向性

道の駅の目玉「産直」の扱う品目と品揃えを充実し、来客数増加と地域産業の活性化を図る。

計画の内容

- 売り場の工夫・改善【再掲】
- 集荷サービスの提供



○今年度の取り組み

○集荷サービスの提供

- ぐるっと隊（2名）で、車両借り上げ使用し、週3回稼働。

【成果】

- 車両がない、農作業等多忙により、出荷断念となる商品を集荷することにより品揃えの充実が図られた。

【課題】

- 利用日が隔日なので、利用しにくい。
- 私用車借り上げのため、災害があった際の補償問題。

月	稼働日	集荷サービス										コンテナ 1個当たり100 円 の場合(円)	集荷額の5% の場合(円)
		件数	高齢者の 利用者数	集荷額計	コンテナ数 計	内 訳							
						集荷額 (野菜)	コンテナ数 (野菜)	集荷額 (海産物)	コンテナ数 (海産物)	集荷額 (その他)	コンテナ数 (その他)		
8月	12	14	11	304,090	38	96,390	33	0	0	207,700	5	3,800	15,205
9月	14	14	14	120,850	38	120,850	38	0	0	0	0	3,800	6,043
10月	14	29	22	292,530	77	105,930	44	186,600	33	0	0	7,700	14,627
11月	13	7	6	48,920	19	30,370	16	18,550	3	0	0	1,900	2,446
12月	12	2	1	97,580	3	8,600	0	0	0	88,980	3	300	4,879
1月	10	7	6	33,350	13	28,550	12	0	0	4,800	1	1,300	1,668
2月	12	6	4	25,620	10	11,130	6	14,490	4	0	0	1,000	1,281
計	87	79	64	922,940	198	401,820	149	219,640	40	301,480	9	19,800	46,147
月平均	12	11	9	131,849	28	57,403	21	31,377	6	43,069	1	2,829	6,592

○売り場の工夫・改善

- 野菜の種類ごとの陳列の実施。
購入者にとって、選びやすく、また、見た目もすっきりとした売り場となった。
- 道の駅に来る環境づくり（**絵画の展示**）
親御さんや祖父母とお孫さんが一緒に絵画をご覧になる来店者が増えたことにより、町内への道の駅PRにもなった。



○今後の取り組み予定

- 売り場の工夫・改善（野菜販売台の変更）
- 野菜栽培に関する勉強会の開催
- 冬場の品薄時の売り場づくり
- ぐるっと隊による集荷サービスの継続実施
（隔日ではなく、営業日すべてでの対応）
- 集荷宅配サービス専用車の導入検討

施策⑤ 高齢者など住民への宅配サービス

取組の方向性

一定のニーズがあり、今後も増加が見込まれることから、既存サービスとの棲み分けや連携を考えながら、実証実験で導入を検討する。

計画の内容

- 宅配サービスの提供
- 宅配サービス先の拡充調査



○今年度の取り組み

○宅配サービスの提供

• 道の駅にある商品（商品カタログ記載）を宅配

- 懐かしさとご先祖様に供えるために、“花もち”が高齢者に人気で、よく宅配された。
- 悪天候時での利用が多い。

• 温泉や役場ロビーで移動販売を実施

今年度、社会福祉協議会主催の「いきいき教室」の日にも実施。
今後行う際は、事前告知が必要。

• 道の駅で購入した重い荷物を自宅まで配達

- じゃがいもの箱買いや、漬物シーズンの秋に、大根や白菜の大袋入りを購入された際の利用が多かった。
- 自転車や徒歩で来て、このサービスがあるということを知り、買い物していく方もいた。

• 高齢者の利用者については、利用状況を把握し、見守りを実施

利用された高齢者と明るい会話のやり取りに心がけ。



収支のバランス（H29年度）

支出：総事業費 1,296千円

収入：手数料 約 100千円（移動販売の売り上げ手数料のみ）

※集荷のコンテナ1個につき100円の手数料をいただいたと仮定しても、**プラス16千円**。集荷額の5%でも**プラス31千円**のため、車の燃料費及び消耗品費を賄えるくらいで、人件費の確保が今後も課題である。

月	稼働日	移動販売			宅配サービス					移動販売 売上手数料 (売上の15%)
		移動販売	高齢者の利用者数	売上額	利用件数	高齢者の利用	内一人暮らし	内電話注文	金額	
8月	12	11	144	137,230	9	5	2	—	—	20,585
9月	14	8	30	68,850	9	8	4	—	—	10,328
10月	14	9	65	95,170	3	1	0	—	—	14,276
11月	13	8	67	80,150	15	11	3	5	5,312	12,023
12月	12	8	80	96,260	14	11	7	7	19,476	14,439
1月	10	7	72	83,700	6	4	2	3	4,180	12,555
2月	12	8	60	101,070	6	4	4	4	2,560	15,161
計	87	59	518	662,430	62	44	22	19	31,528	99,365
月平均	12	8	74	94,633	9	6	3	3	4,504	14,195

○今後の取り組み予定

- 道の駅にある商品（商品カタログ記載）を宅配[継続]
- 温泉や役場ロビー、その他依頼場所で移動販売を実施[継続]
- 道の駅で購入した重い荷物を自宅まで配達[継続]
- 宅配サービスのPR
- 日用品の宅配について検討

施策⑥ 道の駅への送迎サービス

取組の方向性

高齢者のニーズが高く、手にとって商品を選び・楽しみたいという声も多いことから、類似サービスや競合店舗と共存できる送迎サービスを構築。

計画の内容

- 送迎サービスの提供（高齢者への声かけ、見守りサービス含む）



○今年度の取り組み予定

○送迎サービスの提供

送迎サービスの提供

温泉バス利用人数

- 10人から20人くらい
- その内、道の駅利用者は、5人程。
- また、冬場は、野菜がないため0人の日が多い。



平成29年4月からの老人福祉センターバス運行時間が変わります！

★バスの利用できる人は、70歳以上の方になります。お風呂無料券もご利用できます。 『徳島県老人福祉センター 一期島』

北地区（月曜日）		本町地区（火曜日）		南地区（水曜日）	
乗降場所	時間	乗降場所	時間	乗降場所	時間
徳島県庁前	8:30	トレーニングセンター前	8:40	徳島県庁前	8:30
有楽バス停	8:32	石城正徳さん地前	8:44	徳島県庁前	8:38
周防バス停	8:34	田よこは自習室前	8:46	老人館の前	8:38
大塚田バス停	8:36	徳島バス停	8:47	小笠原徳さん地前	8:41
二本石渡部地前	8:38	徳島バススタンド前	8:48	宮どり町入口	8:42
徳島北バス停	10:00	新町バス停	8:48	中渡橋バス停	8:44
白旗徳島さん地前	10:01	青い森信用金庫前	8:50	歌姫バス停	8:48
ふれあいセンター 島	10:05	新町バス停	8:51	徳島南小学校前バス停	8:47
		徳島平バス停	8:52	外野村宮さん地入口	8:48
		大塚田前	10:00	徳島山やまさん地南側	8:50
		ふれあいセンター 島	10:05	入替タケさん地前	8:58
				向平入口	8:58
				徳島山やまさん地前	10:02
				向平北バス停	10:03
ふれあいセンターかも促場前	10:08	ふれあいセンターかも促場前	10:24	ふれあいセンター 島	10:05
みきのく徳島前	10:08	みきのく徳島前	10:25		
徳島前	10:12	徳島前	10:28		
道の駅	10:18	道の駅	10:32		
ふれあいセンター 島	10:22	ふれあいセンター 島	10:38		

★ふれあいセンターかも促場まで上記の時刻へ乗降りができます。 新聞いかわせ堂
 ★町内での月事や、買い物をして温泉利用も可能になりました。 よこゆき温泉 ☎78-8831
 ★乗りは、北地区ふれあいセンター（13:45出発）になります。 徳島県徳島市徳島区 ☎78-2111（内線221）

寄せられている意見

- 道の駅のイベント開催時にも、送迎バスを実施してほしい。
- 買い物等する時間が足りない。
- 日用品が売っていないため、あまり来ることがない。
- 野菜購入のためバスを利用するが、野菜があるかないかが事前にわかれば助かる。
- 温泉に移動販売に「ぐるっと隊」が販売に来てくれるので、道の駅で下車しなくてもよくて、とても助かる。

○今後の取り組み予定

- 温泉&お買い物バス運行【継続】
- 温泉及びバス運行についての周知
- イベント時でのバス運行検討
- お風呂無料券利用者以外の人へのバス利用及び温泉利用についての検討

施策⑦ 災害時の受け入れ体制づくり

取組の方向性

- 道の駅エリア内の各施設において災害時の受入を想定して、必要な防災機能を確保する。
- 避難生活に対応できる備蓄を行う。
- 災害時に防災拠点としての機能できるよう、各施設間の連絡体制・受け入れ体制を構築する。

計画の内容

- 災害時の役割分担と防災機能強化
- 食料及び生活必需品等の備蓄
- 連絡体制等の構築



○今年度の取り組み予定

○防災機能の強化

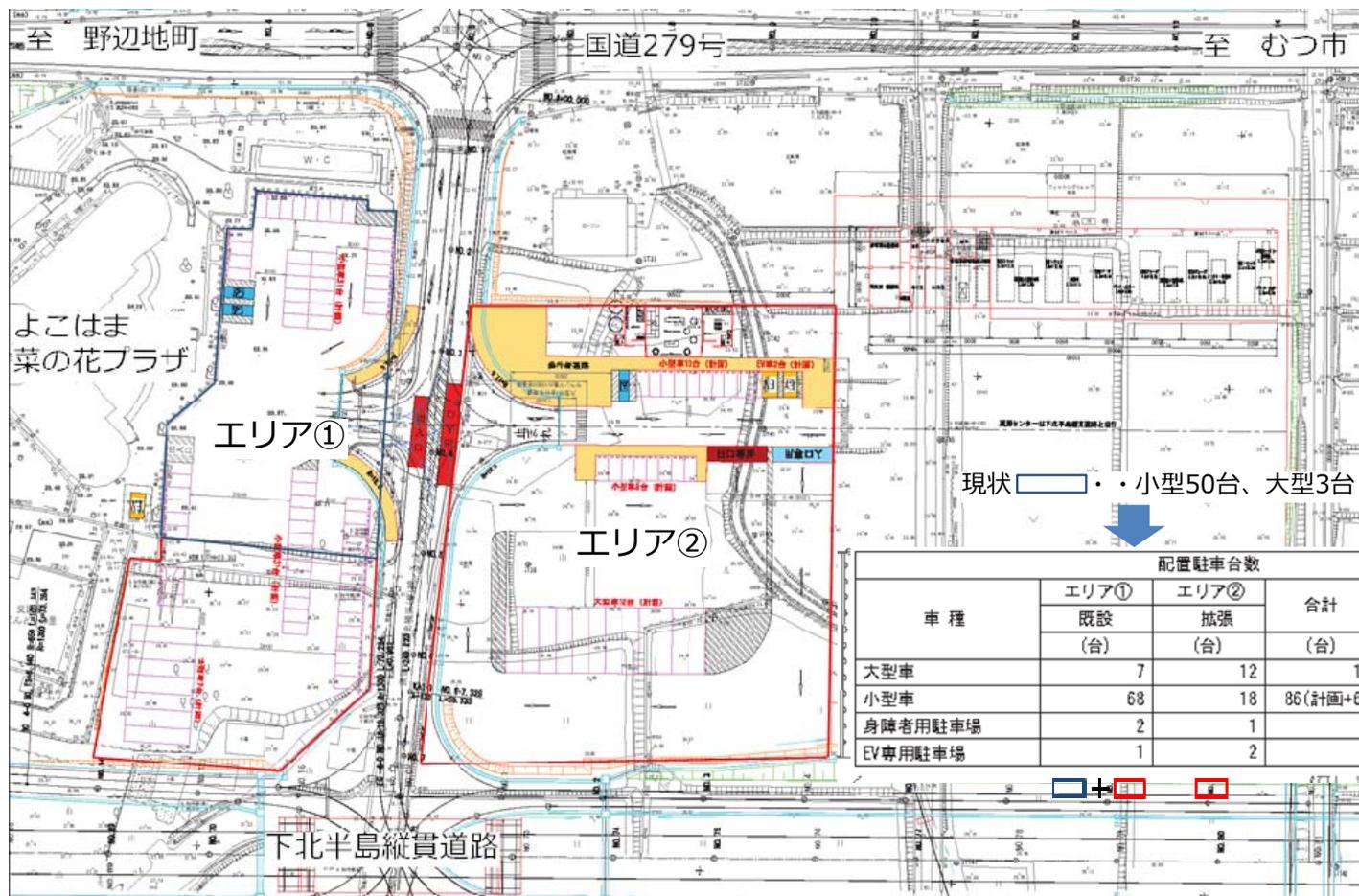
- 用地買収、測量・設計の実施



▲測量の様子

- 駐車場拡張の設計

菜の花プラザに直結する駐車場をできる限り拡幅
県道から進入しやすいよう、間口を拡大



H30年度の取り組み予定

- 防災除雪ステーション、休憩施設等の設計
- 情報提供装置の設計（提供する情報も検討）
- 一部、造成工事に着手

施策⑧ 防災訓練やPR活動を通じた防災意識の醸成

取組の方向性

- 災害時に地域が適切な対応ができるよう、防災訓練や意識啓発を行う。

計画の内容

- 道の駅エリアを活用した防災訓練
- 防災に関する意識啓発



○今年度の取り組み

○防災訓練の実施

- 北地区（旧有畑小学校）において横浜町総合防災訓練を実施

役場職員・消防署・
消防団の初動訓練



【町民参加型訓練】



初期消火訓練



災害対策本部設置訓練

有畑地区町民で組織した「有畑自主防災会」の方々や多くの参加により実施され、防災意識を高めることができた。



避難誘導・避難所運営訓練

○今後の取り組み予定

- 本町地区において防災訓練を実施